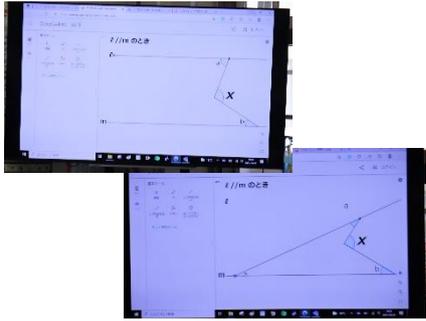
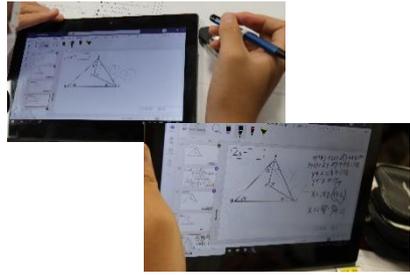


(1)校種・学年・教科等・単元名	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	学年	教科等	単元名
		3年	国語科	高瀬舟
(2)本時の時間・本時のねらい	本時4時間目 /総時数5時間	作品から浮かぶ「問い」について考え、意見を交流し合う活動を通して自分なりの考察をまとめ、 <u>工夫して発表</u> できるようにする。		
(3)主な ICT 活用場面と学習形態・スタイル及び手順とポイント・画像	場面	学習形態	スタイル	
	<input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input checked="" type="checkbox"/> まとめ	<input checked="" type="checkbox"/> A-斉学習 <input type="checkbox"/> B個別学習 <input checked="" type="checkbox"/> C協働学習	AI 教材の提示 C1 発表や話し合い C2 協働での意見整理	
	手順	ポイント	画像	
	① 文章を読み、自分の立てた問いに対しての考察を、Power Pointにまとめておき、Teams上でそれぞれ班員の考察用紙を見ながら推敲し、発表練習をする。	Teams上で他の生徒の考えを共有することで自分の意見に自信がない生徒も考えをまとめるヒントになるようにする。 班員全員の考えを見て推敲したり推敲されたりすることで、自分の考えを深め、よりよい伝え方ができるようにする。	 	
② 班の発表を行う。Teams上のパワーポイントを各自で確認しながら発表を聞く。発表を聞いたら評価シートにそれぞれの班の評価や自分の発表の振り返りを書き込む。	テレビの画面が小さく見えにくい生徒も、自分の手元のタブレットで拡大しながら確認できるようにする。ノートを回すことなく、相手の考察の構図を見ることができ、評価しやすい。	  		

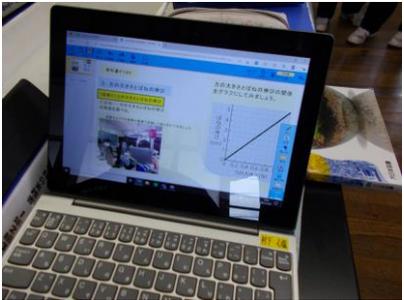
(1)校種・学年・教科等・単元名	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	学年	教科等	単元名
		1年	国語科	いにしえの心に触れる 「今に生きる言葉」
(2)本時の時間・本時のねらい	本時 2時間目 / 総時数 3時間	故事成語の意味を調べよう。		
(3)主な ICT 活用場面と学習形態・スタイル及び手順とポイント・画像	場面		学習形態	スタイル
	<input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ		<input type="checkbox"/> A-斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> B個別学習 <input type="checkbox"/> C協働学習	タブレットを一人一台持ち、活用して調べ学習を行い、ノートにまとめる。
	手順		ポイント	画像
	①16個の故事成語の意味をまとめるための学習プリントを配布し、読みの確認を行った後、タブレットを各自で開き、故事成語の意味を調べて、プリントに記入する。		・故事成語の意味だけではなく、それに伴う故事(その意味を持つようになったエピソード)にも気をつけるように指導する。	
②調べ学習が終わった後、黒板に調べた故事成語の意味を生徒に記入させて、全体で確認をした。		・調べたサイトによって、故事成語の意味の説明の表現が違う場合があること、内容的に同様であれば問題ないこと、の二点を確認させる。		

(1)校種・学年・教科等・单元名	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	学年	教科等	单元名
		1年	数学科	変化と対応
(2)本時の時間・本時のねらい	本時16時間目 / 総時数16時間	比例・反比例の問題をパソコンソフト「Qubena」で練習する。		
(3)主な ICT 活用場面と学習形態・スタイル及び手順とポイント・画像	場面		学習形態	スタイル
	<input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ		<input type="checkbox"/> A一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> B個別学習 <input type="checkbox"/> C協働学習	B 個別問題練習
	手順		ポイント	画像
	① 問題練習の手順を説明する。		わからない所は、教科書、ノートで復習する。	
	② 問題練習でステップアップできるようにする。		ヒントを見たり、できなかった復習問題を解いたりする。	
③ 学習定着確認プリントの問題を解く。		この単元で重要な事項の定着が確認できる問題プリントを解く。		

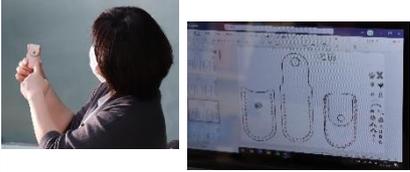
(1)校種・学年・教科等・单元名	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	学年	教科等	单元名
		2年	数学科	図形の調べ方
(2)本時の時間・本時のねらい	本時4時間目 ／ 総時数16時間	補助線を引いてへこみのある図形の角度を求める活動を通して、基本的図形の性質と関連づけて、 <u>平行線や角の性質を用いて説明できる</u> ようにする。		
(3)主な ICT活用場面と学習形態・スタイル及び手順とポイント・画像	場面		学習形態	スタイル
	<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ		<input checked="" type="checkbox"/> A一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> B個別学習 <input checked="" type="checkbox"/> C協働学習	AI教員による教材の提示 B4表現・制作 C1発表や話し合い C2協働での意見整理
	手順		ポイント	画像
	① 図形変形アプリをテレビ画面に提示し、復習問題の図形を本時の課題に変形する。		既習問題の図形を変形して見せることで、解くために既習事項を活用できないかなど、課題解決の方法を見いだすことができるようにする。	
② Teams上でPowerPointのスライドの図形に一人一人自分の引いた補助線を加える。		クラス全員の考えを見ることで、比較したり考えを改め直したり、よりよい解決方法を探求したりすることができるようにする。		
③ ②で記入された全生徒の図を自分のタブレット端末で共有する。また、代表生徒が自分の図に書き込みをしながら説明する。		自分の座席で発表することで人前に立つことを苦手とする生徒でも発表することができる。また、声が小さく前では後ろまで声が届かない生徒の発表でも聞くことができる。		

(1)校種・学年・教科等・单元名	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	学年  1年	教科等  社会科	单元名  地理的分野 第3節アフリカ州 「南アフリカ共和国と日本の結びつき」
(2)本時の時間・本時のねらい	本時 4時間目 / 総時数 5時間	BRICSとして近年発展している南アフリカ共和国、南アフリカ共和国の社会が抱える課題を歴史やそこに暮らす人々の姿を通して、深く学ぶ授業をめざす。そのために、一人1台のタブレットを使用し、課題探求をすすめる。ワークシートやSKY MENU発表ノートで評価を行う。		
(3)主な ICT 活用場面と学習形態・スタイル及び手順とポイント・画像	場面  <input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	学習形態  <input type="checkbox"/> A一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> B個別学習 <input type="checkbox"/> C協働学習	スタイル  B2 調査活動	
① 大型テレビとデジタル教科書を使った導入後、本時のねらい「南アフリカ共和国と日本の結びつき」を黒板に貼る。 各自、テーマを決めてタブレットを使い効果的な調べ学習ができるように指導する。 ICTサポーターが、検索上の注意を話し、適切な操作でタブレットを使用できるように支援する。		手順  ① 大型テレビとデジタル教科書を使った導入後、本時のねらい「南アフリカ共和国と日本の結びつき」を黒板に貼る。 各自、テーマを決めてタブレットを使い効果的な調べ学習ができるように指導する。 ICTサポーターが、検索上の注意を話し、適切な操作でタブレットを使用できるように支援する。	ポイント  情報共有用に大型テレビを前面に設置する。デジタル教科書や地球儀も使用し、興味関心を高める。 タブレットが固まった時や情報収集などについて、ICTサポーターの適切な指導や支援、補助があるため、効率的な授業展開ができる。	画像   大型テレビを使い導入   SKYMENUで生徒の学習状況を確認
② タブレットを使い、南アフリカ共和国について様々な視点から検索し、自分の知りたい情報を集めさせる。 個々で集めた情報から、必要な情報を選択し、各自でワークシートに書き込ませる。検索したページは、SKY MENU発表ノートに保存させる。		手順  ② タブレットを使い、南アフリカ共和国について様々な視点から検索し、自分の知りたい情報を集めさせる。 個々で集めた情報から、必要な情報を選択し、各自でワークシートに書き込ませる。検索したページは、SKY MENU発表ノートに保存させる。	ポイント  様々な観点から検索されていることを大型テレビで可視化することができる。また、可視化することで、調べ学習が深まる生徒や他のテーマへ移る生徒などが出て、学びの質の高まりが実感できる。 SKY MENU発表ノートに情報を保存させ、評価につなげる。	画像   調べた情報をタブレットからワークシートに記入している生徒

(1)校種・学年・教科等・単元名	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	学年	教科等	単元名
		3年	理科	単元5 地球と宇宙 2章 月の運動と見え方
(2)本時の時間・本時のねらい	本時5間目 / 総時数8時間	太陽・地球・月の位置関係から地球から月がどのような形に見えるのか考えさせ、意見交換を行い、実験器具を使い、実際の見え方を確認させ、理解できるようにする。		
(3)主な ICT 活用場面と学習形態・スタイル及び手順とポイント・画像	場面	学習形態	スタイル	
	<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	<input type="checkbox"/> A一斉学習 <input type="checkbox"/> B個別学習 <input checked="" type="checkbox"/> C協働学習	AI B4 CI	
	手順	ポイント	画像	
	<p>① タブレットの使い方 地球から見える月の面 太陽の光が当たる面から見える月の形を考え、記入する。</p>	<p>月の位置により、月の見え方(形)が変わることに気付かせる。</p>		
<p>② 自分で描いた図と他の人との図を見比べながら、もう一度自分の予想が正しいか考えさせる。 その後、月の満ち欠け実験セットを用いて、実際の月の見え方について確認する。 最後になぜそのようなものかをもう一度人に聞いたりしながら確認し、正解をタブレット上に記入する。</p>	<p>人の考えを参考にしながら、再度自分の意見について考える。 自分の考えが正しいのかを実験セットで確認しながら、月の満ち欠けについてのイメージをつくる。 まとめとして、地球から見える月の半面、太陽の光が当たる半面の共通部分が月の形として地球から見える、ということに気付かせる。</p>	 		

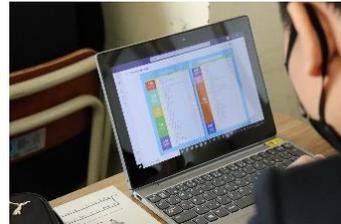
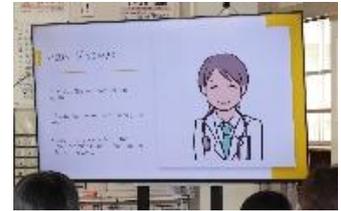
(1)校種・学年・教科等・単元名	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	学年	教科等	単元名
		1年	理科	力のはたらき
(2)本時の時間・本時のねらい	本時7時間目／ 総時数6時間	ばねに加えた力の大きさとはばねの伸びにはどのような関係があるのかを、 <u>実験のようすを動画で撮影することで視覚的に考えさせ、フックの法則を理解させる。</u>		
(3)主なICT活用場面と学習形態・スタイル及び手順とポイント・画像	場面	学習形態	スタイル	
	<input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	<input checked="" type="checkbox"/> A一斉学習 <input type="checkbox"/> B個別学習 <input type="checkbox"/> C協働学習	AI 教員による教材の提示	
	手順	ポイント	画像	
	<p>○個人実験          全員が実験に参加できるように撮影者、実験者、記録者を輪番制にして行った。</p> <p>○班実験          撮影者と実験・記録者に分けて実験を行った。</p>	<p>個人と班での実験を行うことで、気づきや違いを意識させることができる。また動画で記録しているので、より正確に班内で実験を比較することができる。</p>		
<p>②実験結果の発表          班内で個人の実験の結果や考察について発表を行った。その際に動画や静止画、グラフなどを使って説明を行った。</p>	<p>班内で画面を共有することで、発表をより聞きやすくするように工夫した。また、共有ノートで班ノートをつくり、疑問に思った点や気づきなどを記入させ、班内での考えを共有させた。</p>			

(1)校種・学年・教科等・单元名	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	学年	教科等	单元名
		3年	音楽科	ギター学習
(2)本時の時間・本時のねらい	本時2時間目 / 総時数3時間	実際に耳で聴いて短時間で正確にギターノチューニングをすることは難しいが、チューニングアプリを使えば、短い時間でチューニングをすることができ、生涯教育の意味でこれから先も楽器への関心を持てるようにする。		
(3)主な ICT 活用場面と学習形態・スタイル及び手順とポイント・画像	場面		学習形態	スタイル
	<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ		<input checked="" type="checkbox"/> A一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> B個別学習 <input checked="" type="checkbox"/> C協働学習	AI教員による教材の提示 B2調査活動
	手順		ポイント	画像
	①タブレット及びプリントの使い方を説明する。チューニングのやり方を知る。アプリを使ってのチューニングのやり方をテレビ画面により説明し、理解させる。		・チューニング方法が理解できたか、確認する。	
	②実際に班ごとに1台のタブレットを使用し、6本の弦を、第6弦から順にE・A・D・G・B・Eの音に合わせてチューニングしてゆく。全員で一斉にアプリを使ってみる。既習曲「四季の歌」を演奏する。		・1台、チューニングができたなら、その音に班員が合わせる。 ・音が聞きにくい時は、班長が代表して実行する。 ・お互いの音を聞きながら、和音の響きがあるかを確認する。	
③問題点を話し合う。片付け		・他のギターの音や話声をタブレットがひろってしまうため、静かな場所で自分だけではないと、正しいチューニングが出来ない事を知る。 ・班長のみがチューニングする時も、お互いの音出しをずらす必要があることを知る。		

(1)校種・学年・教科等・单元名	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	学年	教科等	单元名
		3年	美術科	革で作る(印鑑ケース)
(2)本時の時間・本時のねらい	本時4時間目 / 総時数6時間	刻印スタンプのデザインを考える時、スタンプのデザインを手描きすると形やサイズが変わってしまうため、上手く描くことができない生徒が多い。本時は刻印スタンプをタブレット上でコピー・貼り付けさせることで、デザインのイメージを素早く正確に形にできるようにする。		
(3)主な ICT 活用場面と学習形態・スタイル及び手順とポイント・画像	場面		学習形態	スタイル
	<input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input checked="" type="checkbox"/> まとめ		<input type="checkbox"/> A-斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> B個別学習 <input checked="" type="checkbox"/> C協働学習	B4表現・制作 C1発表や話し合い
	手順		ポイント	画像
	①デザインする上で注意すべき点について、実際に制作する革を組み立てながら説明する。		・重なる部分、カーブ部分、スナップボタン周辺部分の注意点を確認する。	
	②各自Teamsを使って、革の形の画面に刻印スタンプを貼り付けさせる。  制作の途中で相互鑑賞を行い、他の生徒のよいところに気付かせる。		・コピー、貼り付け、回転等のやり方を板書で明確にし、作業をスムーズに行わせる。  ・展開図のみで考えず、ふたを閉めた状態のデザインまで考えているか確認し、意識させる。  ・鑑賞で意識するポイントを先に板書して説明し、具体的な視点をもって相互鑑賞させる。	 
③各自デザイン画を完成させる。  教材の片づけをする。		・相互鑑賞で気づいた課題点を制作に活かすよう呼びかける。 ・班ごとに回収し、次回スムーズな準備・片付けができるよう練習させる。		

(1)校種・学年・教科等・単元名	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	学年	教科等	単元名
		全学年	保健体育科	体づくり運動(ダンス) 体育発表会に向けて
(2)本時の時間・本時のねらい	本時 5 時間 目／ 総時数 10 時間	・競技を通して、基礎的な技術を身に付け、自己の役割を果たしてダンスを楽しむことができる。 ・話し合いや関わり合いの機会をもつことで、言葉の大切さや仲間の大切さを実感できる。		
(3)主な ICT 活用場面と学習形態・スタイル及び手順とポイント・画像	場面	学習形態	スタイル	
	<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	<input checked="" type="checkbox"/> A一斉学習 <input type="checkbox"/> B個別学習 <input type="checkbox"/> C協働学習	教員による動画の提示	
	手順	ポイント	画像	
	① 準備運動・(DFF)  ○教師が近くに行ってカウント数を数えたり、お手本の生徒を配置したりすることにより、戸惑う生徒がスムーズに楽しく創作ダンスを踊ることができるようにする。	○それぞれの動作をタブレットに整理して、流れを一目で分かるようにする。 ○音楽を流し、個人で撮影し実際のテンポで動くタイミングや考えた演技を確認させる。 ○スクリーンに見本動画を提示、全体共有できるように意識 個人タブレットを使い自分を撮影する。		
②創作  ○練習で撮った動画を見直し、戸惑う生徒がスムーズに演技できるようにする。 ○アイデアが浮かばない生徒には動きなどをいくつか提示し、創作の手助けを行う。またインターネットを活用してアイデアを探す。 ★苦手な生徒には、カウントをゆっくりする、ストップモーションを取り入れるなどの助言をする。検索や見本の活用を促す。	○それぞれの動作をタブレットに整理して、流れを一目で分かるようにする。 ○音楽を流し、個人で撮影し実際のテンポで動くタイミングや考えた演技を確認させる。 ○現在の演技動画提示し、リズムについて話し合う場を持ち、次時の学習の見通しを持つことができるようにする。 ○スクリーンに見本動画を提示、全体共有できるように意識			

(1)校種・学年・教科等・单元名	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	学年	教科等	单元名																										
		2年	技術・家庭科	エネルギー変換の技術による問題の解決																										
(2)本時の時間・本時のねらい	本時 9 時間目 / 総時数 10 時間	振り返る場面で、 <u>製作過程を撮影した写真を Class Notebook に取り込み、作業のポイント</u> をまとめることで、 <u>設計や製作の過程に対する改善および修正を</u> 考えることができるようにする。																												
(3)主な ICT 活用場面と学習形態・スタイル及び手順とポイント・画像	場面	学習形態	スタイル																											
	<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input checked="" type="checkbox"/> まとめ	<input type="checkbox"/> A一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> B個別学習 <input type="checkbox"/> C協働学習	B1 個に応じる学習 B3 思考を深める学習																											
	手順	ポイント	画像																											
①GIGA 端末を活用する学習では、授業の始めに P 検のタイピング練習を行うことで、入力スキルを向上させる。練習後は、得点と正タイプ率を「記録表」に入力させる。	Class Notebook に練習の記録を入力させ、学習の成果が可視化されるようにする。生徒が自分のスキルアップを確認することで、モチベーションの向上に繋がる。また、教師も生徒の記録を容易に把握することができる。	タイピングレッスン 記録表 2021年11月18日 9:09 <table border="1"> <thead> <tr> <th>日にち</th> <th>得点</th> <th>正タイプ率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>9月2日</td><td>38</td><td>92</td></tr> <tr><td>9月6日</td><td>41</td><td>96</td></tr> <tr><td>9月14日</td><td>44</td><td>97</td></tr> <tr><td>9月16日</td><td>44</td><td>95</td></tr> <tr><td>9月24日</td><td>44</td><td>95</td></tr> <tr><td>10月4日</td><td>45</td><td>93</td></tr> <tr><td>11月24日</td><td>44</td><td>94</td></tr> <tr><td>12月13日</td><td>43</td><td>94</td></tr> </tbody> </table>		日にち	得点	正タイプ率	9月2日	38	92	9月6日	41	96	9月14日	44	97	9月16日	44	95	9月24日	44	95	10月4日	45	93	11月24日	44	94	12月13日	43	94
日にち	得点	正タイプ率																												
9月2日	38	92																												
9月6日	41	96																												
9月14日	44	97																												
9月16日	44	95																												
9月24日	44	95																												
10月4日	45	93																												
11月24日	44	94																												
12月13日	43	94																												
② 毎時間の授業の終わりに、作業した製作過程を端末で撮影させておいた。まず、記録画像を一覧表にまとめやすい大きさにトリミングさせた。 Class Notebook にその写真を挿入させ、作業時に使用した道具と、製作工程を記録させた。さらに、製作のポイントを振り返ることができるようにした。	作業のポイントをまとめることで、設計や製作の過程に対する、改善および修正を考えさせることができる。 また、コンテンツライブラリに、製作で使用した道具や機械の名前と、それらを使用するポイントをまとめた一覧表を掲載しておき、生徒が随時閲覧することができるようにした。	スタンドライト 製作の振り返り 2021年11月18日 9:11 <table border="1"> <thead> <tr> <th>日にち</th> <th>記録写真</th> <th>使った道具・機械</th> <th>製作するとき気をつけたこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月11日</td> <td></td> <td>前列のこまじ、ドララング、ベルトドライブ、ホイスター</td> <td>【工程3、工程4】切る向きにはのこぎりの刃をまっすぐ引くようにしていた。</td> </tr> <tr> <td>11月15日</td> <td></td> <td>ベルトドライブ、ホイスター、木工用ボンド</td> <td>【工程3、工程4】ベルトドライブの向きを調整して、削る向きはホイスターで引いた線のギリギリまで削るようにした。</td> </tr> </tbody> </table>		日にち	記録写真	使った道具・機械	製作するとき気をつけたこと	11月11日		前列のこまじ、ドララング、ベルトドライブ、ホイスター	【工程3、工程4】切る向きにはのこぎりの刃をまっすぐ引くようにしていた。	11月15日		ベルトドライブ、ホイスター、木工用ボンド	【工程3、工程4】ベルトドライブの向きを調整して、削る向きはホイスターで引いた線のギリギリまで削るようにした。															
日にち	記録写真	使った道具・機械	製作するとき気をつけたこと																											
11月11日		前列のこまじ、ドララング、ベルトドライブ、ホイスター	【工程3、工程4】切る向きにはのこぎりの刃をまっすぐ引くようにしていた。																											
11月15日		ベルトドライブ、ホイスター、木工用ボンド	【工程3、工程4】ベルトドライブの向きを調整して、削る向きはホイスターで引いた線のギリギリまで削るようにした。																											

(1)校種・学年・教科等・単元名	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	学年	教科等	単元名
		2年	英語科	Unit 6 Work Experience Goal 職場体験について報告しよう
(2)本時の時間・本時のねらい	本時9時間目／ 総時数9時間	北九州ゆめ未来ワーク2021で見学した企業や職業から、友だちに伝えたいことをレポート形式で作成する。 <u>GIGA 端末で Teams や PowerPoint のスライドマスターを使用し、各自プレゼンテーションのレイアウトを作る。</u> 授業の終わりに自分の体験について英語で発表することをねらいとする。		
(3)主な ICT 活用場面と学習形態・スタイル及び手順とポイント・画像	場面	学習形態		スタイル
	<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	<input type="checkbox"/> A一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> B個別学習 <input checked="" type="checkbox"/> C協働学習		C 作成・発表
	手順	ポイント		画像
	①導入 本時の学習の流れを確認する。その後、教科書のモデル文を読み、どこで体験したか・体験したこと・感想を読み取る。	この後作成するレポートに必要な箇所を重点的に確認する。		
②展開 ゆめ未来ワークで見学した企業や職種についてモデル文参考にし、スライドを作成する。 英文を3文程度作成させ、必要な画像を貼り付ける。	この単元で学んだ不定詞や接続詞 because を使い、スライドを作成する。参考にできる資料をテレビモニターで表示する。		 	
③まとめ 完成したスライドを元に班ごとに発表する。 ・自分が興味のあるものにスタンプを押す。 ・振り返りを記入する。	英語の原稿はなるべく見ずに、班員に分かりやすく説明させる。		 	

(1)校種・学年・教科等・单元名	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	学年	教科等	单元名
		3年	英語科	Unit 2 Goal 経験したことを伝え合おう
(2)本時の時間・本時のねらい	本時9時間目／ 総時数9時間	おすすめの場所やそこでしたことなどを、写真を使って教え合う。 GIGA 端末で PowerPoint を使用し、著作権が許諾された画像を検索・プレゼンテーションのレイアウトをした。発表時に班員に見せながらスピーチをすることで、英語の内容が伝わりやすいようにすることをねらいにする。		
(3)主な ICT 活用場面と学習形態・スタイル及び手順とポイント・画像	場面	学習形態	スタイル	
	<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	<input type="checkbox"/> A-斉学習 <input type="checkbox"/> B個別学習 <input checked="" type="checkbox"/> C協働学習	C1 発表や話し合い	
	手順	ポイント	画像	
	① 大型テレビを使って、本時の学習の流れを確認する。その後、5分間各自でスピーチの練習をし、班の中で発表順を決める。	班にする前に、表を使って、本時の流れを一つずつ確認し、見通しを持って学習に臨めるようにする。表は掲示したままにし、生徒自身が随時活動を確認できるようにする。		
② Presentation ・持ち時間一人4分で、写真を提示しながら、事前に準備した原稿を基に英語で発表する。 ・班員は発表の内容を聞きながら、ワークシートに記入する。 ・発表後は班員からの質問に答える。 ・自分が訪れてみたい場所に印をつける。 ・振り返りを記入する。	英語の原稿はなるべく見ないで、事前に用意した画像を使って、班員に分かりやすく説明させる。タブレットの画面を反対向きに取り付け、班員が見えやすいようにする。 時間を設定し、発表について英語で質疑応答する。	 		

